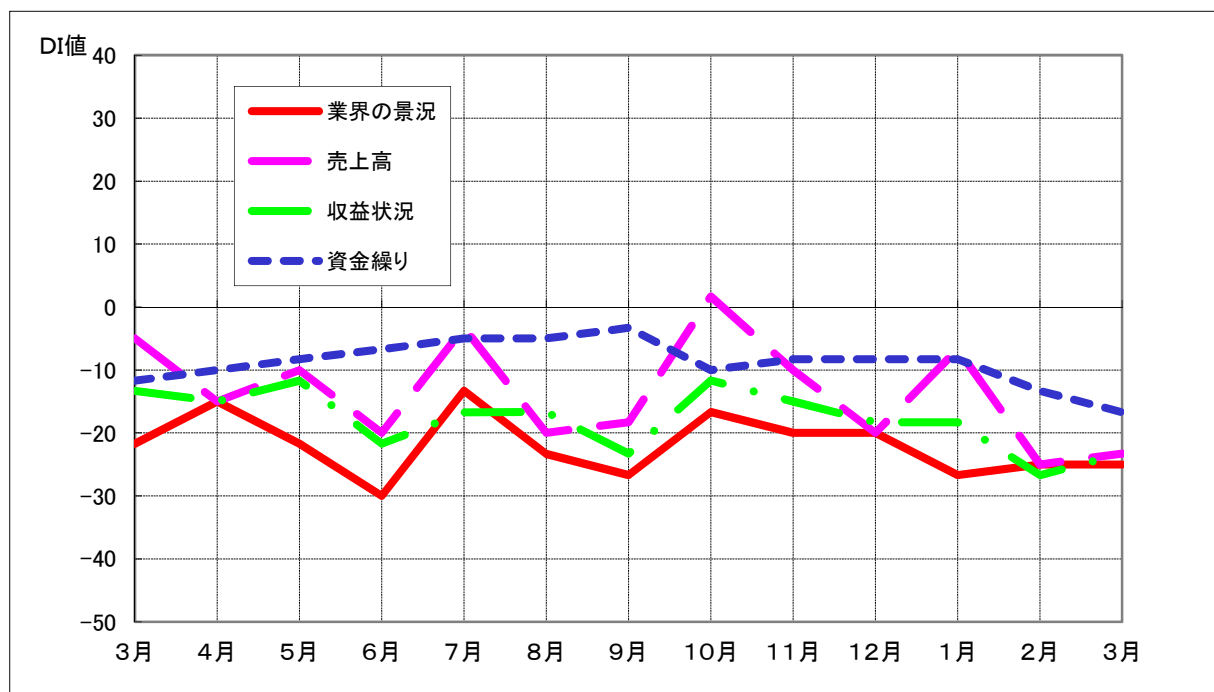


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成30年3月～平成31年3月

単位:ポイント



	H30						H31						
	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
業界の景況	-21.7	-15.0	-21.7	-30.0	-13.3	-23.3	-26.7	-16.7	-20.0	-20.0	-26.7	-25.0	-25.0
売上高	-5.0	-15.0	-10.0	-20.0	-3.3	-20.0	-18.3	1.7	-10.0	-20.0	-6.7	-25.0	-23.3
収益状況	-13.3	-15.0	-11.7	-21.7	-16.7	-16.7	-23.3	-11.7	-15.0	-18.3	-18.3	-26.7	-23.3
資金繰り	-11.7	-10.0	-8.3	-6.7	-5.0	-5.0	-3.3	-10.0	-8.3	-8.3	-8.3	-13.3	-16.7

3月のDI値は前月と比べ、2項目改善、1項目不変、1項目悪化であった。「売上高」DI値は1.7ポイント、「収益状況」DI値は3.4ポイントそれぞれ改善、「業界の景況」DI値は不変、「資金繰り」DI値は3.4ポイント悪化した。前年同月比でみると、全項目で悪化し、「業界の景況」DI値は3.3ポイント、「売上高」DI値は18.3ポイント、「収益状況」DI値は10ポイント、「資金繰り」DI値は5ポイントそれぞれ悪化した。

連絡員からは、3月決算の組合が多いこともあり、組合員の廃業やそれに伴う組合員数減少の報告が多く寄せられている。また製造業においては前年同月に比べ売上が増加したとの声もあるが、非製造業においては連絡員の半数以上で売上が減少しており、その影響か、製造業と非製造業で景況感に大きく差が出ているようだ。

組合からの特記事項としては、3月決算の組合が多いこともあり、組合員の廃業やそれに伴う組合員数減少の報告が多く寄せられている。経営者の高齢化や後継者不足、その他人材不足の問題を抱え、業界の先行きについて不安視する声があった。

製造業においては、建設関連業界を中心に出荷量等が引き続き増加しているが、原料・材料価格の値上げや受注状況の変化について報告があり、今後の業況は楽観できない。一方非製造業においては、天候に恵まれたことや各種イベントの時期ということもあり、小売業や運輸業を中心に比較的好調との声もあるものの、全体としては連絡員の半数以上で前年同月に比べ売上が減少しており厳しい状況である。また、その影響か、製造業と非製造業で景況感に大きく差が出ているようだ。